

廃アルミで水素火力発電

アルハイテック、事業化へ

廃アルミ由来の水素発生技術を持つアルハイテック(本社〓富山県高岡市、水木伸明社長)とホテル三日月(本社〓千葉県木更津市、小島芳宏社長)は26日、戦略的パートナーシップ契約を締結したと発表した。世界で初めて廃アルミを活用したグリーンな水素火力発電を事業化する。2026年の稼働を目指す。現状で廃棄されているスクラップをアルミ原料問題10社が設立したUrie(本社〓東京都大田区、原圭司社長)などが調達して供給する。

ホテル三日月と提携

アルハイテックと共に、Urieは世界的なサステナブルソリューションを提供する。アルハイテックの水素製造装置

置を使いグリーンな水素で発電する電力として活用する。

原料となるアルミスクラップの回収は、ホ

テルのある木更津市と

Urieが協力。アル

ミ付き包装容器やアル

ミ箔、工場などで余剰

となった低品位の廃アル

ミを調達する。産業

系の廃アルミはUrie

が、家庭系の廃アル

ミは木更津市が回収し

て供給する。

アルハイテックはオ



契約締結の様子(右がアルハイテックの水木社長)

ンサイトサービスとして廃アルミから水素と水酸化アルミを製造。ホテル三日月はそこで

を、サステナブルなソリューション事業で活用することを検討する。アルハイテックの水素製造装置は投入アル

ミ処理量が1時間当たり270トンで、水素製造能力は1時間当たり300ノルマル立方メートル。1日8時間の運転時間で年間240日稼働する。